

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時における対応について、全職員が実際に災害が起きた時に冷静に判断し落ち着いた行動ができるかどうか。また、近隣住民や地域との連携を図り、対応ができるか。	全職員が各々の役割を決め冷静に判断し行動できるようになる。また近隣住民や地域との連携をスムーズに図れるように関係を築いていく。	定期的に訓練や、ロールプレイングを行い不安を取り除いていく。誰でもわかるような独自のマニュアルを職員と共に作成していく。災害が起こった後の家族との連絡方法、伝言内容のマニュアルを作成する。	12ヶ月
2	34	全職員が急変時や事故発生時に冷静に判断できるか、また状態の変化やサインを少しでも早く気づき報告、情報を共有していくことができるか。	どんな時でも全職員が冷静に判断し、連携を取りながら行動することが出来る。日々の申送りやカンファレンスを通し、状態の変化やサインを一早く気づき報告、情報交換をしていく。	緊急時、事故発生時のロールプレイングや勉強会を定期的に行い、職員同士で意見を出し合う。申送りやミニカンファレンスを通して話し合い、情報交換をし、意識を高めながら支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3	33	重度化や終末期について、管理者・看護師だけでなく全職員で事業所の方針、考え方、家族との関わり方、支援方法など取り組んでいく必要がある。	重度化や終末期についての方針、支援方法を理解し本人を始めDr、看護師、家族、職員がチームになり支援に取り組めるようになる。	重度化や終末期についてのDr、看護師を交えての勉強会、事業所の方針、家族との関わりなど職員会議等で話し合い勉強をすることにより職員の不安を取り除き、知識と自信をつけ、本人や家族に安心感を与えられるようチーム作りをする。	12ヶ月
4	4	運営推進会議の活かした取組みについて、現状では事業所の運営報告と評価や意見交換が主である。地域との関わりで必要な課題を取り上げ参加者同士で有効的な意見交換が出来る場としたい。	家族を始め地域の方に気軽に参加して頂き、課題に対しての意見交換、情報交換を有効的に行い発信源となるような事業所になる。	有意義な地域との交流図っていき、地域の事をもっと理解し、事業所の事も知って頂くよう努力をしていく。運営推進会議であがった意見を真摯に受け止め職員で話し合いを行いよりよいサービス向上に繋がられるよう行っていく。出席できなかった家族、関係者にも報告を行っていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。